

# LUMINE SUSTAINABILITY

ルミネサステナビリティハイライツ



ルミネ新宿

イベント  
レポート

## EVENT

### 眠っていたコスメが、新しい体験に。

#### 『コスメリゴランドストア』で出会う“めぐる”楽しさ

「暑い夏を、もっと楽しく。」をテーマに、2026年7月から8月に開催したルミネ・ニューマンのエシカーニバル第4弾。ルミネ新宿では、販売機会を失った“わけありコスメ”を特別価格で届ける「Cosme Re-Go-Round Store (コスメリゴランドストア)」と、不要になったコスメを回収し新たなプロダクトへと生まれ変わらせる「コスメ回収アップサイクルキャンペーン」を同時開催しました。会場では、預けたコスメを分別する体験や、コスメの絵の具で描く似顔絵と塗り絵のワークショップも実施。ショッピングの延長線上に、コスメとの新しい付き合い方に出会える3日間となりました。

WE ILLUMINATE  
THE  
FUTURE

わたしが選ぶ毎日が  
わたしたちの未来を  
つくっていく



TOPIC

## コスメ廃棄の現実

コスメの廃棄は、まだまだ知られていない環境問題のひとつです。生産過程などで化粧品メーカーから出る化粧品の中身(バルク)の廃棄量は、国内大手メーカー 5社だけでも年間約2万トン、店頭や小売での在庫やテスターも合わせるともっと多くなると言われています(※)。安全を保つための使用期限や、商品を欠品なくお客さまへ届けるための十分な在庫確保など、安心と安定供給を追求する仕組みが、結果として廃棄を生みやすい側面を持っているためです。さらに、お客さまのお手元にも、使いきれずに眠っているコスメが少なくないといわれています。生産から販売の過程や、お客さまの生活の中にも、まだ使えるはずのコスメが行き場を失いやすい状況が続いています。この課題に、ルミネは2つの角度から向き合ってきました。

※株式会社モーンガータによる独自調査データ

### ふたつの取り組みで描く循環



#### 「コスメリゴランドストア」で 出会う新しいコスメとのご縁

ひとつめの取り組みが、「コスメリゴランドストア」です。外装のキズや汚れ、リニューアルによる販売終了などで、店頭に並ぶ機会を失った“わけありコスメ”を、特別価格でお届けするポップアップストアとして展開しています。「人にも地球にもやさしいコスメ」を表彰し、化粧品・衛生品分野全体のサステナビリティ向上を推進する「サステナブルコスメアワード」との共催で立ち上げました。その後、ナチュラル & オーガニックのセレクトショップ「Cosme Kitchen」もパートナーに加わり、エシカーニバル期間中に開催しています。会場に並ぶのは、外装にわずかな傷はあっても、中身にはまったく問題のないコスメ。手に取ったお客さまが、お気に入りを見つけて、持ち帰っていく。新しいコスメとの出会いを楽しみながら、その一つひとつの購入が、廃棄されるはずだったコスメの行き先をつくることにもつながっていく。お買い物そのものが、自然と循環の一部になっていく取り組みです。

わけありコスメを  
特別価格で



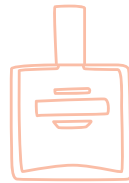
#### 預ける・分別する・生まれ変わる 「コスメ回収 アップサイクルキャンペーン」

もうひとつの取り組みが、「コスメ回収アップサイクルキャンペーン」です。お客さまのお手元にある不要コスメを回収し、新たなプロダクトへとアップサイクルする企画で、SminkArt(株式会社モーンガータ)との協働で今回3回目の実施となります。今回はお客さま自身が「預ける」「分別する」「生まれ変わる」の3ステップに参加できる形へと進化しました。使いきれずに抱えていたコスメを持ち込み、お客さま自身で中身をかき出し、容器と分ける。その過程を通じて、コスメが次の色材へと歩き出していく道筋をたどっていただけます。お預かりしたコスメは、絵の具や、カプセルトイとして販売した「ルミ姉キーホルダー」などの色材として、新しい姿へと生まれ変わっていきます。大切にしているのは、「回収して終わり」にしない姿勢です。お預かりしたコスメの先まで見えるようにすることで、お客さまと一緒に循環の輪をつくる体験を目指しています。

コスメは色材として  
新たなプロダクトに  
生まれ変わる



## モーンガータ社とともにつくる、 回収コスメのアップサイクル



「コスメ回収アップサイクルキャンペーン」でアップサイクルを担っているのが、SminkArt(株式会社モーンガータ)です。モーンガータの田中麻由里さんに、取り組みへの想いを聞きました。



株式会社モーンガータ  
田中麻由里さん

## ルミネ×モーンガータ社 共に歩み、進化させてきたパートナーシップ



モーンガータ社との協働は、今回で3回目を迎えます。回を重ねる中で、今回はお客さま自身が「預ける」「分別する」「生まれ変わる」の3ステップに参加できる形へと進化しました。分別体験の設計にあたっては、ルミネ社員もモーンガータとともに、かき出し作業を行いました。「この容器は分別しづらいね、と言いつつ進めました」と、田中さんは振り返ります。細部まで一緒に磨いてきたパートナーシップです。

## 「廃棄物ではなく資源」年間2万トンをめぐる、 色材開発のはじまり

コスメには開封後の使用期限があり、原料にも使用期限が定められています。在庫を多めに確保する慣習もあり、年間約2万トンはその積み重ねの上に成り立っているといいます。田中さんがまず教えてくれたのは、「廃棄物ではなく資源」という視点でした。「薬機法の厳しい基準をクリアしたものだけで作られたコスメは、見方を変えれば有用な資源になり得るのです」と、田中さんは語ります。粉末状のコスメを絵の具へと変える液体「マジックウォーター」は、元々化粧品の研究・開発者であった同社の代表が作り手として現場で感じてきたもったいなさと、田中さん自身が使い切れないコスメで絵を描いてきた原体験が重なって生まれました。「いつでもリミテッドカラーなんです」と田中さん。その時にしか生まれない色が届く仕組みです。

薬機法で定められた成分でつくられたコスメは、見方を変えれば有用な資源になり得るのです



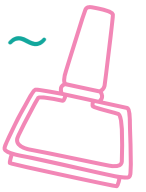
## ワークショップで届けたい、 自分の感性と出会い直す入り口



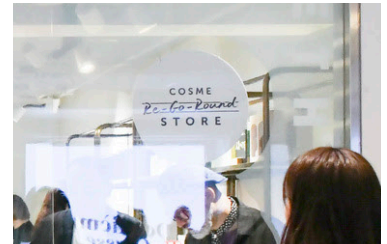
田中さんにワークショップに込めた想いを伺うと、「捨てられない罪悪感を、楽しい体験に変えたい」と話してくれました。自分の手でかき出し、次の色へと生まれ変わらせる。その時間そのものが、モヤモヤをほどく体験になるといいます。絵の具にしてみたら思いのほか美しい色で、「私こんな綺麗な色を使ってたのね」と気づかれるお客さまもいらっしゃるそうです。田中さんが最後に伝えてくれたのは、「コスメをコスメというカテゴリーから切り離し、材料として見る目線」でした。「自分だったらこの素材をもっとこう使えるんじゃないか、と考える時間をお届けしたい」。使い終わったコスメと向き合う時間の中に、自分の感性と出会い直す入り口がありました。

# イベント当日レポート ～ルミネ新宿で過ごす時間～

7月25日の朝、ルミネ新宿の会場では開店に向けた準備が進んでいました。ここからは、当日会場で流れていた時間を、順に追いかけていきます。



## ⑦ 開店前、ストアが整う時間



通路から見える「Cosme Re-Go-Round Store」のロゴと、「コスメ回収アップサイクルキャンペーン」のポスター。店内の商品ラックには、外装にわずかなキズや汚れはあっても中身には問題のない、丁寧に並べられた“わけありコスメ”。壁面には、コスメ廃棄削減に向けた取り組みを紹介するパネルを掲示しました。

回収・ワークショップスペースでは、コスメを預けていただくブースや分別体験のための道具、色材で彩る塗り絵の紙が、開店前の時間の中で整えられていきました。



## ⑧ オープン後、コスメを選ぶ・預ける

開店とともに、来店されたお客さまが「コスメリゴランドストア」でのお買い物やコスメの回収スペースへ足を運んでくださいました。田中さんによると、これまでも「もったいないという想いから、捨てられずにいた」というお客さまが多かったといいます。



## WORKSHOP



### コスメが生まれ変わる瞬間を体験

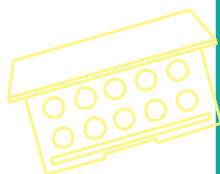
分別体験スペースでは、お客さま自身でコスメの中身をかき出し、容器と分けていきます。田中さんも「かき出しの作業自体を、楽しい体験として届けたい」と話してくれました。過去にも「かき出す作業が楽しくて夢中になれた」というお声をいただいています。



会場では、色材になったコスメを使ったワークショップも並行して開かれていました。ひとつは、アーティストのカンダアカネさんによる似顔絵ワークショップです。ルミネのアプリで知り足を運ばれた方は、「コスメがこんなカラフルになるって知らなかった」と話してくれました。もうひとつは、色材で彩る塗り絵のワークショップです。友人と来店された方は、コスメならではの色味を楽しんでいました。



### ルミ姉ガチャでキーホルダーをゲット♪ お気に入りのコスメと出会う時間を再び



「ルミ姉キーホルダー」のガチャ販売も展開しました。売上金は、公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパンに寄付されます。「コスメリゴランドストア」でも、「わけありコスメ」を手にとられたお客さまが、それぞれのお気に入りを見つけていかれました。

## 楽しさを起点に、コスメの循環をこれからも

「捨てる」以外の選択肢が、お買い物の延長線上にそっと置かれている。ルミネ新宿の会場では、そんな時間が流れていました。“わけありコスメ”の中に思いがけないお気に入りを見つけてくださったお客さまも、使いきれずにいたコスメを絵の具やキーホルダーの色へと生まれ変わる過程を体験されたお客さまも、それぞれの楽しさと出会っていました。新しい縁と、めぐる楽しさが心地よく重なり合う1日となりました。

「エシカーニバル」という名前には、“エシカルな消費を楽しむ”という思いを込めています。面白そう、楽しそう、と感じていただいた先で、その選択が結果としてコスメ廃棄削減につながっていく。そんな日常を、少しずつ広げていきます。

コスメは、選ぶときも使うときも、心がおどるものです。そのわくわくと、コスメへの愛着に、ルミネはこれからも寄り添い続けます。



WE ILLUMINATE  
**THE  
FUTURE**

わたしが選ぶ毎日が  
わたしたちの未来を  
つくっていく



ルミネではサステナビリティ方針

「WE ILLUMINATE THE FUTURE

わたしが選ぶ毎日が、わたしたちの未来をつくっていく」

のもと、みんなと一緒に一歩ずつでも前に進んでいくために  
ルミネだからできることを考え、共に歩み続けます。



### ●ルミネのサステナビリティ

<https://www.lumine.co.jp/sustainability/>

### ●ルミネ新宿

<https://www.lumine.ne.jp/shinjuku/>